

事務事業評価シート

評価年度	平成29年度	対象事業年度	平成28年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	企画政策部 企画広報課 広報広聴係 谷川和祥	評価責任者 (担当課長)	企画広報課 増田広康
----------	------------------------	-----------------	------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	都市交流事業(交換学生事業1)		② 整理番号	02140301-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉		
	節	地域に根ざした市民文化の創造		
	項	国際文化交流の推進と交流基盤の整備		
	号	国際交流の推進		
④ 関連する個別計画			⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	リズモー市(オーストラリア、ニューサウスウェルズ州)と大和高田市(日本奈良県)のあいだの姉妹都市提携に関する盟約書			

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	1963年締結の「リズモー市(オーストラリア、ニューサウスウェルズ州)と大和高田市(日本奈良県)のあいだの姉妹都市提携に関する盟約書」に基づき、姉妹都市としてリズモー市、大和高田市両市の友好を深めるため。
② 対象 (誰・何を対象として)	大和高田市からの派遣学生は、市内在住の学生数名、高田商業高校の学生1名、随任教諭1名。リズモー市からの派遣学生は、リズモー市が募集した学生数名
③ 手段 (どのようなやり方で)	派遣学生の選抜について、市内在住の学生数名は、大和高田・リズモー都市友好協会に委託し、選考試験を実施している。高田商業高校からは推薦学生が1名、随任教諭は、市内中学校と高田商業高校が持ち回る。派遣学生はリズモー市でホームステイを行い、リズモー市からの派遣学生と随行員の居住地については、その年度にリズモー市へ派遣した学生家族及び、ホストファミリー登録をしている市民にホームステイを依頼する。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	日本とオーストラリアの姉妹都市締結第1号として、50年間姉妹都市として交流を続けてきた。交換学生を通じ、互いの街を知ることになり、今後の更なる発展が期待できる。また、ホストファミリーが中心となり、市民間交流が続けられている。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位：千円、人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 直接事業費	1500	1500	1500	1500	(予算) 1,500
② 概算人件費	(0.42) 3,098	(0.63) 4,564	(0.71) 5,193	(0.79) 5,634	
一般職員(職員数)	(0.42) 3,098	(0.63) 4,564	(0.71) 5,193	(0.79) 5,634	
嘱託職員(職員数)					
臨時職員(職員数)					
③ 合 計 (① + ②)	4,598	6,064	6,693	7,134	0
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					
⑤ 一般財源 (③ - ④)	4,598	6,064	6,693	7,134	0

4. 評価指標

種類	指 標 名	指標の算出方法等	実 績 値			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
活動指標	① 交換学生派遣回数		1	1	1	1
	② 交換学生受入回数		1	0	1	1
成果指標	① 学生派遣人数(引率含む)		7	6	6	6
	② 学生受入人数(引率含む)		5	0	8	6
効率指標	① 交換学生1人当たりのコスト	(派遣・受入費用決算額/交換学生人数)	101,196	144,623	166,236	176,689
	②					

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	1985年から両市間で行われている交換学生派遣制度は、英語力を身につけ、国際的視野を広めるとともに、相互理解や姉妹都市として両市の交流を深めると言う目的に合う制度である。ここに市と市民を会員とする「大和高田・リズモー都市友好協会」が推進するのは、合理的・効果的である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	この事業に参加した学生が後にリズモー市にある大学に留学をしたり、また、リズモー市からの学生を受け入れたホストファミリーがリズモー市を訪れたり、派遣をきっかけとした交流が深まっている。他にも、派遣学生同士が繋がりを作っており、交流の輪は着実に広がっている。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	派遣学生事業について、交通費など、必要経費の半額は学生が負担している

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
A	☐ 人件費の重点化 ☐ 予算の重点化 ☐ 事業の縮小 ☐ 事業の統合 ☐ 実施内容の変更 ☐ その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）